

「グローカリズム」育成の新たな拠点として —アトリウムラウンジ(仮称)の誕生

Topics



- 1 センター長よりメッセージ:
「グローカリズム」育成の新たな拠点として—アトリウムラウンジ(仮称)の誕生
- 2 GUGL(群馬大学グローバルラウンジ)の活用と学内の国際化
- 3 教育学部・教育学研究科より: 教員養成のグローバル化に向けて
- 4 学生が創る昭和キャンパス English Café @showa
- 5 群馬大学サマー・プログラム 2018
- 6 2018 群馬ちびっこ大学ブース出展報告
- 7 グローバルフレンズ制度に参加しよう
- 8 (お知らせ)2019年春の英語研修プログラム

群馬大学の新しいキャッチコピー「群を抜け 駆ける 世界を」は、群馬大学生が寄って立つべき「グローカリズム」の精神を的確に表現しています。草の根の地域の視点と地球規模の視野双方を備えた「グローカリスト」として多くの学生が群馬大学から巣立ち、迫り来る多様性社会の時代に活躍して欲しい。そう願って、国際センターでも様々な国際交流事業を展開しています。2017年度はGUGL(群馬大学グローバルラウンジ)を荒牧の国際センター2階に整備し、ここで定期的開催される English Café、Chinese Café、Global Caféなどで留学生と一般の学生が交流してきました。この秋には、大学会館ミュージズホール前のエントランススペースが、アトリウムラウンジ(仮称)として生まれ変わり、学生が自由に交流するスペースがさらに広がります。アトリウムとはガラスで囲まれた吹き抜け空間を差します。この開放的なアトリウムラウンジは、学生の皆さんのラーニング・コモンズとして、国際交流の行事や講演会、音楽会など種々の催しを行うスペースとして、大いに活用されることでしょうか。学部や国籍、年齢などを超えた交流・協働により、「グローカリズム」の基本である多様な視点や考えの分かち合いがこの空間で実現することを願っています。

国際センター長 末松美知子



アトリウムラウンジ完成予定図



GUGLにて Global Café

GUGL (群馬大学グローバルラウンジ) の活用と学内の国際化

2017年度に国際センター2階に大学内の国際交流を推進する目的でGUGLが整備されました。これは、学内の多様な国籍の学生が自由に交流する場として期待されており、2018年度より早速様々な交流プログラムが実施されています。5月にはイギリスキール大学の留学報告会や留学生の朗読会を実施。6月、7月にはGlobal Café(インドネシア編・ハンガリー・ポーランド編)が実施され、8月には留学生の琴の演奏会もここGUGLで実施されました。また、イングリッシュカフェやチャイニーズカフェなど定期的実施されている留学生から言語を学ぶプログラムも人気です。今後ますます学内の国際交流が進むよう学生と協力しあいながら様々な企画を進めていきたいと思っています。

国際センター 講師 園田智子

教員養成のグローバル化に向けて

群馬県は、外国籍居住率が全国で3位になるなど、特筆すべき“内からのグローバル化”が進んでいます。教育学部・教育学研究科は、群馬県の有する地域課題を踏まえ、グローバル化時代に対応できる国際的な視野をもった教員を養成する使命を有しています。そのため、教育実習に加え、国際的な教育実践の場を提供することを目的として、ここ数年、バンドン、台北、釜山、ハノイの4つの日本人学校において海外インターンシッププログラムを実施し、1年次からも海外教育システムを体験できるミズーリ州立大学（米国）、モアヘッド州立大学（米国）での短期研修プログラムを構築しました。そして、2015年度には、社会情報学部とともに「教育・社情GFLコース」を立ち上げました。2016年度にはリトアニア教育大学、2018年度にフォートルイス大学（米国）と学部間協定を結び、留学機会の拡充に努めています。このような学生の留学機運向上への努力が実を結び、2017年度は、長期留学および短期留学の年間の派遣数がそれぞれ全学の中で第1位となっています。このことを背景として、受入留学生のみならず派遣留学生指導に対しても適切な予算措置を講じることが望まれます。グローバル化時代に対応できる教員養成への投資は、将来学生が教師となって教える子どもたちへの投資であり、日本の未来への投資に他ありません。教育学部・教育学研究科では、今後も日本の教育のグローバル化に対する努力を続けていきます。

教育学部英語教育講座 講師 山田敏幸



ミズーリ州立大学へ出発前、
成田空港にて

学生が創る 昭和キャンパス English Café @showa

昭和キャンパスでは2018年5月から English Café を立ち上げ、これまで21回の講座に延べ278人の学生や教職員が参加しました。学生が直接運営に関わることが English Café @showa の特徴です。参加者のニーズに合った講座内容の実現と、日本人学生と留学生との交流を目指しています。講座は週2回月曜と木曜の昼休みに共用棟7階の国際保健推進室で行われ、月曜日はディアナ・クローズ先生が、そして木曜日は10人の留学生講師のうちの4人が、講師を務めています。希望して集まった34人の学生運営スタッフのうち毎回4人の学生が運営に関わり、学生は講師との事前の打合せ、開錠と記録ファイルの受け取り、施錠と記録ファイル返却、メーリングリスト（ML）で実施状況の報告と次回リマインダーの送信、いずれかの役割を担います。MLには、学生だけでなく留学生講師や教員も加わり、時には English Café 以外の情報提供にも利用されています。学生の発案で LINE グループを作り、Instagram や Twitter も始めました。さらに、教員と学生グループの代表、留学生講師の有志が月1回集まり、現状の分析と対策について話し合っています。7月には日本人学生と留学生との交流を活性化することを目的とした English Café @showa 主催の Welcome Party も開き、たくさんの学生や教員が参加しました。これからも Activate our students をモットーに、私たちの試行錯誤は続きます。

保健学研究科 准教授 川島智幸
教授 齋藤貴之



Instagram <https://www.instagram.com/englishshowa>
Twitter <https://twitter.com/englishshowa>



昭和キャンパス English Café

国際交流情報が満載の

昭和キャンパス English Café SNS

群馬大学サマー・プログラム 2018

群馬大学サマー・プログラム 2018 を、日本語の初級レベルの学習者を対象として、2018年7月9日（月）～7月20日（金）までの期間で実施しました。今回は中国、台湾、韓国の交流協定校から10名の参加がありました。

日本語の授業の他、英語による日本事情の講義、茶道・日本画・華道・邦楽・弓道といった日本の伝統文化体験のプログラムを提供しました。特に弓道では一日のプログラムでしたが、群馬県弓道連盟北群馬支部の皆様のご協力を得て、実際に弓を射るところまで体験することができ、参加者も大変有意義な一日となったようでした。

今回はホームステイを実施しましたが、県内の交流協会によるホストファミリー紹介の他に、群馬大学教職員へも受入の案内を行い、多くの方にご協力いただきました。今後とも学内の教職員、あるいは学生の家庭への受け入れの機会を増やしていければと考えています。

プログラム期間は学期末テストの直前となりましたが、多くの日本人学生がバディとして参加学生のサポートに当たってくれました。異文化と直に接触するこのような機会をなるべく多くの学生に体験してほしいと思い、グローバルフレンズ制度を活用するなどして、今後のプログラムでも多くの日本人学生の協力を期待したいと思います。

今回は日本語の初級レベルの学習者を対象としていましたが、2019年2月に中級～上級の学習者を対象に、スプリングプログラムを実施予定です。今回の反省を活かし、より良いプログラムにできればと考えています。

国際センター 准教授 牧原功



中国、台湾、韓国からの参加学生達



はじめての弓道に挑戦！

2018 群馬ちびっこ大学ブース出展報告

8月10日、11日の2日間、第14回群馬大学主催こども体験教室「2018 群馬ちびっこ大学」に、国際センターから「中国語でコマをつくらう！」というブースを出展しました。

ちびっこたちは本学の中国人留学生から「你好！（こんにちは）」「这是什么？（これなあに）」などのフレーズを習い、言えるようになるとCDやビー玉などコマを作るための材料をゲットできます。中国語学習セッションを無事パスしたちびっこたちは、キラキラシールや色とりどりのペンを使って、オリジナルのコマを完成させていました。下は3歳、上は小学校6年生ぐらいまでの約450名が参加してくれましたが、ちびっこたちは発音が本当に上手。留学生たちとも臆することなくコミュニケーションをとっていました。

ちびっこたちが早いうちから多様な人々と交流し、様々な言語に触れながら、興味・関心を世界に向けて開く機会の一つとなったことを願うばかりです。

国際センター 講師 渡邊知積



群馬大学中国人留学生と
「中国語でコマを作ろう！」



グローバルフレンズ制度に参加しよう



国際交流活動でポイント獲得
グローバルフレンズ制度
2018年4月 START
 ~ GUパスポートを持って国際交流活動に参加しよう ~

グローバルフレンズ制度って?
 国際センターが実施する国内外の様々な国際交流活動に参加し、GUパスポートにポイント貯める新しい制度です

ポイントの獲得方法は簡単!
 グローバルフレンズMoodleへ登録
 ポイント対象の国際交流活動に参加し、GUパスポートにスタンプを獲得
 参加した活動をMoodleへ入力
 1月末、国際センターに合計ポイントを申請
 ポイントが貯まると表彰や記念品を!

どんな国際交流活動がある?
 留学生フォーラム、インターナショナルキャンプ、English Cafe、GUGL Global Cafe 等の様々な活動があり、活動ごとにポイント数が決まっています。詳細は、GUパスポートや国際センターHPをチェック!

Moodleへの登録方法は?
 下のQRコードからアクセスしてください
 Home ▶ 専門教育(その口) ▶ Others
 ▶ 国際センター International Center
 ▶ 群馬大学グローバルフレンズ
 登録キー: gulg2018
 (LINE: gu-gu2018)

問い合わせ
 国際センター・国際課
<http://www.guic.gunma-u.ac.jp>

大会館1階
 (担当教員: 野田・船橋)

制度の詳細、国際交流活動の予定は
 国際センターHPをご参照ください

国際センターは、学生の皆さんに群馬大学で行われる国際交流活動に積極的に参加してもらえよう、2018年4月からグローバルフレンズ制度をスタートさせました。これは、国際交流に関するイベントやプログラムに参加することでポイントが貯まり、表彰や記念品を受けられるという制度です。学生は国際交流活動に参加の際、GUパスポートにGUICスタンプ（参加確認のスタンプ）を受け、同時に、グローバルフレンズ Moodle に参加の登録をすることでポイントが加算されてゆきます。スタートから半年あまりですが、既に150名を超える登録がありました。

各種国際交流活動において獲得できるポイント数に違いはありますが、2018年前期には、本ニューズレター記事「GUGL（群馬大学グローバルラウンジ）の活用と学内の国際化」にあげられる国際交流活動の他、教育学部・社会情報学部合同の国際交流成果報告会やチューター活動も本制度の活動として認定しました。スタートから半年余りですが、150名を超える登録があり、バラエティに富んだ国際交流活動に多くの学生が参加しています。

2018年後期からは、新しく完成したアトリウムラウンジ（仮称）も活用しながら、新たなタイプの国際交流活動やその機会を広げていく予定です。学生の皆さん、グローバルフレンズ制度に参加して「群を抜けかける世界を」!

国際センター 講師 船橋瑞貴

お知らせ 2019年春の英語研修プログラム

2019年春の英語研修プログラム

10月9日（火）からオーストラリア・ウーロンゴン大学（UOWC）、英語研修プログラムと米国サンディエゴ州立大学（SDSU）英語研修プログラムの募集が始まります。締切は11月9日（金）を予定しています。

2019年春の海外留学説明会

10月24日（水）に海外留学説明会を行います。説明会では、アメリカ留学の魅力について、アメリカンセンターの橋本由希子さんにお話ししてもらいます。また上記の両プログラムに参加した学生の留学体験の報告会もあります。春休みに実施する他のプログラムも紹介しますので、ぜひ参加してください。



UOWC 英語研修プログラム（約4週間）
 渡航期間: 2019年2月23日
 ~3月24日

募集人数: 20名
 参加費用: 33~36万円の予定
 (奨学金支給後の金額、渡航費、学費、
 宿泊費を含む)



SDSU 英語研修プログラム（約4週間）
 渡航期間: 2018年3月2日
 ~3月31日

募集人数: 20名
 参加費用: 45~48万円の予定
 (奨学金支給後の金額、渡航費、学費、
 宿泊費を含む)

Time Table

14:20~14:50	プログラム参加学生による発表会
15:00~15:30	アメリカンセンター講演「アメリカ留学の魅力」
15:30~16:00	アメリカ留学個別相談
16:00~16:30	アメリカンセンター講演「アメリカ留学の魅力」
16:30~17:00	プログラム参加学生による発表会

国際センター 教授 野田岳人